

# 給食だより 1月号

太田市立城東中学校

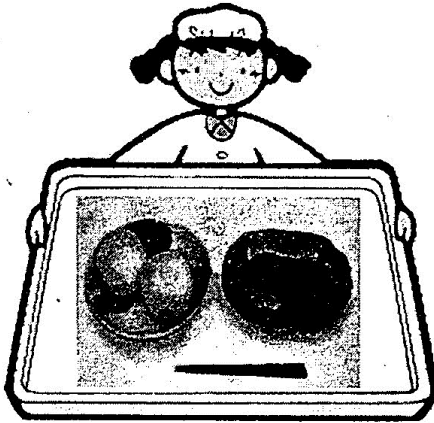
2018年はみなさんにとってどんな1年でしたか。振り返りつつ、2019年の目標を考えてみましょう。1月は全国学校給食週間もあります。これをきっかけにみなさんも何気なく食べている食事に目を向けてみてください。

## 全国学校給食週間

☆☆☆☆☆ 1月24日～30日 ☆☆☆☆☆

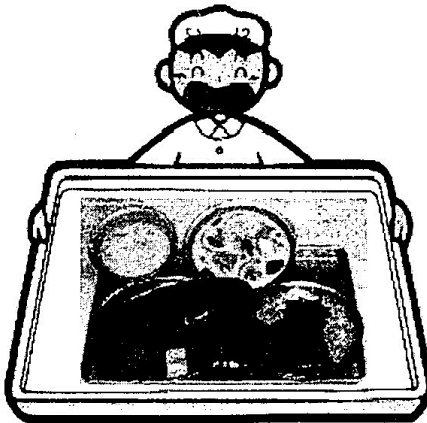
明治22年、山形県の小学校で家が貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちへ昼食をだしたのが学校給食の始まりとされています。その後学校給食の取り組みは全国へと広がりましたが、昭和16年に太平洋戦争が起こり、徐々に食料不足となり実施することができなくなっていきました。

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、アメリカの民間団体(ラウ)から送られた物資で、昭和21年12月24日、東京、神奈川、千葉の三都県の学校で試験的に学校給食を再開することになりました。この日は冬休みと重なるため1ヶ月後の1月24日から30日が「全国学校給食週間」となりました。



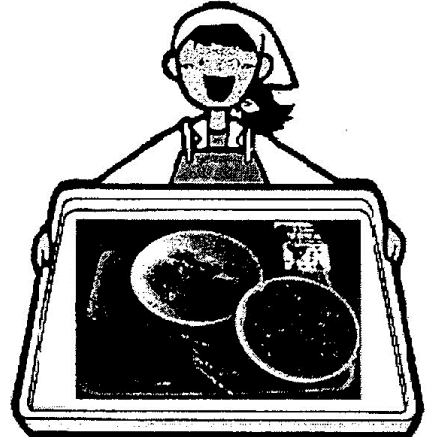
明治22年(給食の開始)

このような食事でも当時はごちそうでした。お寺にある寺子屋のような学校で、お坊さんが先生だったようです。



戦後(昭和25年)

このころは、まだご飯はなく、とても大きなパンが出ました。ミルクは教室で脱脂粉乳を溶かして飲みました。



現在(平成)

昔は栄養不足の子どもたちのために出していた給食ですが、今は様々な種類のメニューを出し、食べ物への興味を深めてもらうことを目的としています。

いつも何気なく食べている給食ですが、どんな人たちの協力を経てみなさんの口に入るのか、よく考える1月にしましょう。

